

地方独立行政法人岐阜県総合医療センター 平成22年度の業務の実績に関する評価結果の概要

1 地方独立行政法人の評価制度

県は、地方独立行政法人岐阜県総合医療センター（以下「法人」という。）が5年間で達成すべき目標（以下「中期目標」という。）を定め、これに対し法人は、中期目標を達成するための計画（以下「中期計画」という。）を作成し、中期計画に従って5年間の業務運営を自主的・自律的に行う一方で、法人の業務の実績を第三者機関である評価委員会が事後に評価する制度が設けられました。

評価委員会は、法人が5年間で中期目標を達成できたか評価することになりますが、各事業年度においても、中期計画の実施状況を評価し、中期目標の達成に向けて順調に進んでいるかをチェックすることになっています。

2 評価結果の概要

全体評価 A（中期目標の達成に向けて順調に進んでいる）

S	中期目標の達成に向けて特筆すべき進捗状況にある（評価委員会が特に認める場合）
A	中期目標の達成に向けて順調に進んでいる
B	中期目標の達成に向けておおむね順調に進んでいる
C	中期目標の達成のためにはやや遅れている
D	中期目標の達成のためには重大な遅れがある

大項目	評価の内容（特筆すべき点・課題）	
住民サービス等の質の向上	特筆すべき点	<p>外来待ち時間対策として、検査・診察・治療を患者に合わせてオーダーすることにより院内滞在時間の縮減を図っているほか、待ち時間に待合室を離れる患者に対して希望により携帯電話による呼び出しを行ったり、病診連携による紹介患者について診察予約時間30分以内の診察を徹底することなどが行われている。</p> <p>「地域医療支援病院」として要求される紹介率・逆紹介率の水準を大きく上回り、近隣の医療機関との役割分担と連携強化が実現されており、地域医療の全体的な水準の強化に大きく貢献している。</p> <p>治験件数（24件）が計画を大きく上回っている。</p> <p>日常の診療に加え、突発的な大規模災害の応援要請に迅速に対応し、医療支援を実施したことは評価できる。</p>
	課題	<p>認定看護師の増員には更に努力が必要である。</p> <p>開放型病床利用率は向上しているが、共同指導回数については減少傾向となっている。</p>
業務運営の改善及び効率化	課題	<p>外部委託を行うのみでなく、費用対効果など委託契約の質のチェック機能を向上するための仕組みを構築することを期待したい。</p> <p>医療従事者の負担軽減は重要な課題であり、医療クラーク（医療事務作業補助者）等については、必要数を把握して効果的に配置することを検討すべきである。</p>
予算、収支計画及び資金計画	特筆すべき点	<p>経常収支比率（97.2%）及び職員給与費対医業収益比率（47.4%）が計画を上回る結果となっており、経営努力は非常に評価できる。</p>